

# 2019ワールドキャンプ in Odawara

～世界で活躍するナガサキ・ユース代表団と学ぼう～

2019年8月19日～21日

## 成果発表

### 1日目

- 日時 令和元年（2019年）8月19日（月）
- 場所 小田原市尊徳記念館
- 内容
  - （1）ナガサキ・ユース代表団の講義
    - ・ナガサキ・ユース代表団について
    - ・長崎の被爆の実相について
    - ・今日の核兵器について
    - ・核抑止論について講師：ナガサキ・ユース代表団
  - （2）グループビルド（レクリエーション）  
講師：おだわら自然楽校
  - （3）ピザパーティー  
講師：おだわら自然楽校

# ナガサキ・ユース代表団の講義



2班

## 〈概要・感想〉

ナガサキ・ユース代表団は、日本中、世界中に原爆の恐ろしさや平和の大切さを発信して、国際会議に参加しているグループです。また、ナガサキ・ユース代表団は世界を平和にするためのことを教えてくれました。

今回講義では原爆による人体に及ぼす3つの被害（熱線、爆風、放射線）や、現在ある核の数、核廃絶の難しさなどを教えてくれました。

核兵器禁止条約は条約として作られました。

しかし、今この条約に賛成しているのは122か国で、反対している国もあります。

また、核兵器を持っている核保有国も入っていません。そのため、核保有国はこの条約に入るとは自国にとって不利になると言っており、日本もその一つだということを学びました。

私たちの感想は、核の威力はやばいと思いました。

核兵器についての世界の現状は知らないことがたくさんあって、複雑な関係をどうすればいいのか考える機会になって学ぶことができました。

3つの特徴のうちの「爆風」の速さが音の速さよりも速いことにとっても驚きました。唯一の戦争被爆国として、原爆での攻撃を止める杭みたいになればいいなと思いました。

日本が唯一の戦争被爆国なのに、アメリカの核の傘のせいで加盟ができなく、まさか加盟をしていないとは思いませんでした。

# グループビルド



3班

## 〈概要・感想〉

ここでは、班の仲を深めるために、「島渡り」と「ビー玉転がし」を行いました。

僕の印象に残ったのは、「ビー玉転がし」です。「ビー玉転がし」と言われても、何かわからないと思いますが、短い竹を使って、みんながゴールにビー玉を運んで行くゲームです。

このゲームは、話し合いをしないとクリアできない遊びなので、みんなの仲が深まったと思いました。

また、僕が印象に残ったのは、このグループビルドで友達が多くできたことです。「島渡り」や「ビー玉転がし」で自然と声掛けができてみんなと男女関わらず仲良くなれました。それに、とてもみんな話しやすいので話す機会が自然と増えました。

この「島渡り」や「ビー玉転がし」のほかに頭を使うゲームもとても楽しかったです。なぜなら、それは個人で行うゲームでしたが、みんなと一緒にいたりもして、とても楽しかったからです。

# 2日目

- 日時 令和元年（2019年）8月20日（火）
- 場所 市内各所及び小田原市尊徳記念館
- 内容（1）市内戦争遺跡巡り  
講師：井上 弘さん  
（戦時下の小田原地方を記録する会 事務局長）
- （2）グループワーク  
「私たちが創る平和のまち小田原」について考えよう
- （3）戦時下の食事体験  
（炊事：すいとん、芋がらのきんぴら、  
たたきキュウリ等）  
講師：おだわら六彩会

## 松永記念館の本土決戦陣地跡



### 《概要・感想》

私たちは、松永記念館の人たちに普段入ることのできない本土決戦陣地跡を案内してほしいをお願いをして、実際に入らせてもらいました。この穴は、人の手で掘って作られたと聞きました。実際に中に入って壁を触ると土が少し崩れを落ちましたが、一つの手だけでこんなに頑丈に作ったのは、すごいと思いました。そして、この中はとても暗くて、何の罪もない人たちがこの穴に入って、閉じこもった中で生活するのはとても苦しうだないと思いました。今後二度と戦争が起きないことを願って、このことを後の世代に受け継いでいきたいと思いました。

## プラージュ古清水の小田原空襲跡



4班

### 《概要・感想》

私たちは、「プラージュ古清水」というところに行きました。ここは、普通のマンションですが、昔は古清水旅館と言い、敗戦当日、1945年8月15日に小田原空襲で被害を受けた場所です。旅館の8割が焼失し、周辺の約400軒の家屋が焼失しました。また、12名が亡くなりました。しかし、旅館の人は誰も死が出なかったそうです。このマンションの2階には、空襲で焼け残った階段や当時の被災した古清水旅館の貴重な写真があります。その写真は、変わっていて、空襲のあとに写真を撮るのはとても珍しかったそうで、それを見て嬉しかったです。

私たちは、2階で資料を見たあと屋上に行きました。屋上からは、相模湾や小田原城など、小田原のまちを一望することができます。

古清水旅館の方にお話を聞き、この屋上から見える場所は焼け野原だったということを知りました。そこは良く通る道や良く行く場所が見えました。どんなに大変だったんだろう、どんなに怖かったんだろうと思いました。自分たちの住んでいる小田原で、しかも知っている場所でこんなことがあったのかと悲しくなりました。

## 新玉小空襲の爆弾投下跡（蓮上院）



5班

### 《概要・感想》

爆弾投下跡を見るために蓮上院に行きました。そこで、小田原空襲で被害を受けた濱武さんにお話を伺いました。

お話によると5才のときに空襲を受け、大変怖い思いをしたそうです。主な被害は、新玉小学校や近くの田んぼに焼夷弾が落ちたことで3人の犠牲者が出たことです。土壘に爆弾が落下し土砂が大量に降り積もり、生き埋めにされてかわいそうだと思います。

濱武さんは、1秒違ったら生きていなかったかもしれないとおっしゃっていました。

爆弾投下の跡を見て、まるで、隕石のクレーターみたいな形になっていて、とても大きい爆発だったんだなと思いました。

生きている人たちはすごく奇跡だなと思いました。それは爆弾ってすごく恐ろしいからです。建物より小さいものが一気に爆発して人を殺してしまっただからです。

また、この小田原空襲は、米軍には記録されていません。

私たちが小田原空襲を伝えて行くべきだと思います。

# 戦時下の食事体験について



## 《概要・感想》

私たちは2日目の夜ごはんには戦時下の食事体験をしました。作ったものはすいとんなど5品です。

おだわら六彩会の方たちによると、戦時中は何日かご飯が食べられないことがあったそうです。

今の私たちの食事と戦争のときの食事を比べると、私たちは普段すぐぐぜい沢をしているんだなと思いました。

だから、これからは食べ物を残さないで大切に食べるようにしていきたいです。



5班

## 3日目

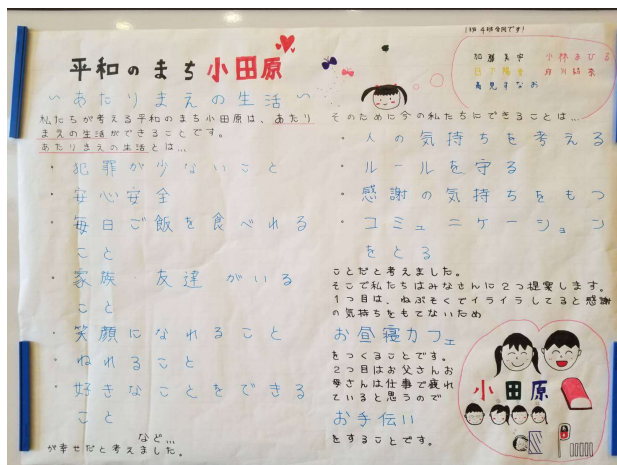
- 日時 令和元年（2019年）8月21日（水）
- 場所 小田原市尊徳記念館
- 内容（1）グループワーク（まとめ）  
（2）成果発表会  
講師：ナガサキ・ユース代表団

# グループ発表

## 『私たちが創る 平和のまち小田原』



### グループ発表 1班・4班



#### 〈概要・感想〉

私たちが考える「平和のまち小田原」は、「当たり前の生活ができること」です。

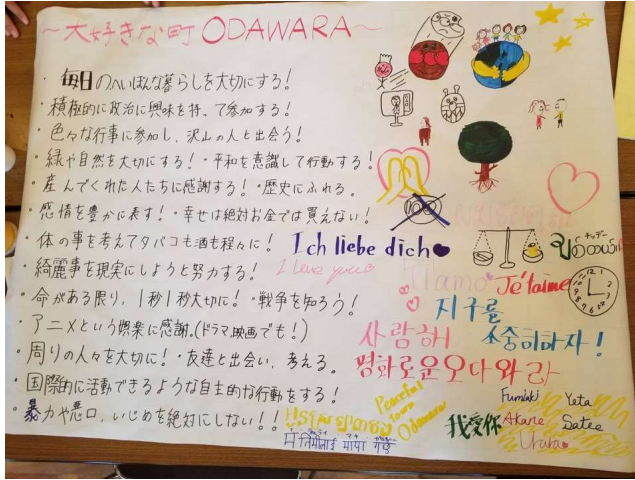
そのために今の私たちにできることは、「人の気持ちを考えて行動すること」、「ルールを守る」、「感謝の気持ちを持って行動すること」、「コミュニケーションをとる」です。

そこで皆さんに二つ提案します。一つ目は、「寝不足でイライラしていると感謝の気持ちを持ってないため「お昼寝カフェ」をつくることです。

一人暮らしの人や子どもと遊んで疲れているお父さんお母さんやただ寝不足の人もお昼寝は大切だと思います。安心してご飯も食べられて、寝られる「お昼寝カフェ」を提案します。

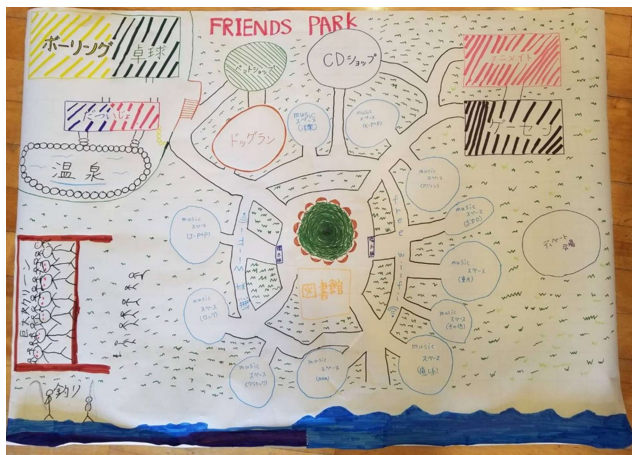
二つ目は、お父さんお母さんの手伝いを率先して行うことを提案します。

# グループ発表 1班・4班



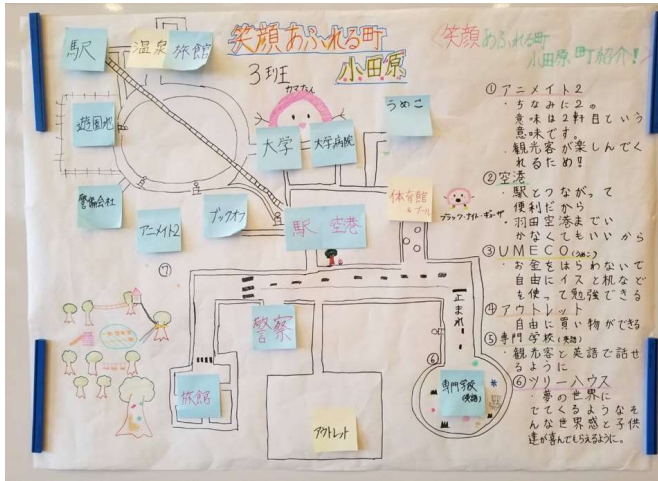
《内容》  
 ここに書いた言葉は、特に自分が  
 できることに近い言葉を18の言  
 葉に変換して書きました。  
 次に、これは私たちが平和になる  
 ために考えたルールです。  
 今回はワールドキャンプなので世  
 界の言語をナガサキ・ユース代表  
 団のかたに教えてもらいました。  
 「愛している」という言葉を他国  
 の言語で書きました。  
 私たちが考えた平和になるために  
 小田原に必要なことは、「ルール  
 を守る」、「人間関係を大切に」、  
 一人一人が悪口などを意識すれば、  
 戦いなど起こらずに平和に暮らせ  
 ると思います。一人一人が昔戦争  
 があったことを意識して、例えば、  
 仲間などを大切にして考えて行動  
 すると平和が続くと思いました。

# グループ発表 2班



《内容》  
 仲良くなるためにフレンズパークを考  
 えました。  
 理由は、仲良くなったら、争いや憎し  
 みがなくなり、平和につながると思っ  
 たからです。  
 フレンズパークは、  
 幅広い年齢に対応できる。  
 人と人とでつながりが作れる。  
 公園なのに、温泉がある。  
 お店もある。  
 そんな公園です。  
 また、ディベート会場も作りました。  
 ワールドキャンプの1日目にディベ  
 ートをしてみて、意見を聞いたり言っ  
 たりすることで自分の考えをさらに考え  
 直したり、相手の考えをより理解する  
 ことで、お互いの良さを認め合うこ  
 とができ、平和につながると思ったか  
 らです。  
 中央にハンモックを作りました。寝ら  
 れることが平和という意見が出たので、  
 中心におきました。またよく眠れるよ  
 うに、自然をたくさん作りました。

# グループ発表 3班



《内容》  
笑顔あふれるまち 小田原の  
まちを考えました。  
アニメイト2、空港、UMECO、  
アウトレット、ツリーハウス  
を作りました。  
また、小田原名物「かまた  
ん」を作りました。

# グループ発表 5班 (1)

5班 私たちで創る  
平和のまち小田原  
「人と笑顔がいっぱい小田原」  
5班 内田健心  
実現するために... 中佐美春奈  
深澤みのり  
保科友希  
武井創太郎  
中村暉

- ・人口を増やす
- ・さぎをなくす
- ・名物を売り出す
- ・ポイ捨てをしない
- ・街灯を増やして、明るくする
- ・富士山が見えるスポットを作る
- ・地面から、町をとます
- ・看板に英語表記を足す
- ・駅にスプリンクラーを設置
- ・テーマパーク・ショッピングモールの建設

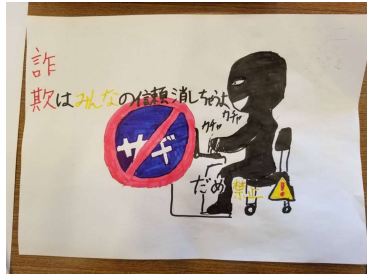
そのために...

- ・パンフレットを作る
- ・ポスターを作る
- ・お祭りを開催する
- ・紙しばいを書く

《内容》  
「人と笑顔がいっぱい小田原」を  
実現するために、人口を増やしたり、  
詐欺を無くしたり、名物を売り出し  
たり、と色々考えました。  
そのために、ポスター、キャラク  
ター、紙芝居を作りました。



## グループ発表 5班 (2)



〈ポスター〉



〈キャラクター〉

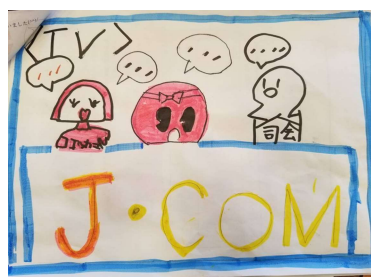
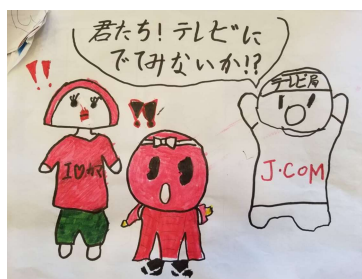
## グループ発表 5班 (3)

小田原  
の  
復活劇



〈紙芝居〉

## グループ発表 5班(4)



## グループ発表 5班(5)





## 参加者

- 1班 深水里恵（鴨宮中）、加藤美宇（鴨宮中）、山口明音（鴨宮中）、  
日下陽音（鴨宮中）、川田陽太（城山中）
- 2班 三浦 宙（相洋中）、仁科拓実（城山中）、佐藤みのり（鴨宮中）、  
青木衣里彩（鴨宮中）、新井心温（鴨宮中）、澤地桜良（千代中）
- 3班 井上裕詔（城山中）、杉山愛羽（鴨宮中）、池田優奈（鴨宮中）、  
有馬沙織（鴨宮中）、江川 星（千代中）
- 4班 天野煌己（城山中）、小林まひる（鴨宮中）、井上文陽（千代中）、  
府川結奈（鴨宮中）
- 5班 内田健心（相洋中）、宇佐美春奈（鴨宮中）、深澤みのり（鴨宮中）、  
保科友希（鴨宮中）、武井創太郎（橘中）、中村 暉（泉中）

ナガサキ・ユース代表団 矢野大輝、高見すなお、永江早紀、牟田麗、山口稔由